

富士川病院併設居宅介護支援センター
重要事項説明書

居宅介護支援 重要事項説明書

令和6年 4月 1日現在

1 担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）

氏 名	有泉 明子
-----	-------

2 事業者（法人）の概要

事業所（法人）名	峡南医療センター企業団
所在地	山梨県南巨摩郡富士川町鯉沢 340-1
連絡先	0556-22-3135
代表者名	企業長 河野哲夫

3 居宅介護支援事業所の概要

(1) 事業所の所在地等

事業所名	富士川病院併設居宅介護支援センター
所在地	山梨県南巨摩郡富士川町鯉沢 340-1
連絡先	0556-22-8251(直通) 0556-22-7301(代表)
事業所番号	1970701296
管理者名	有泉 明子

(2) 営業日及び営業時間

営業日	月曜日～金曜日
営業時間	8:30～17:15

※日曜・祝日・年末年始（12/29～1/3）は休み

(3) 職員体制

従業者の職種	人数	常勤・非常勤	備考
主任介護支援専門員	1名	常勤	
介護支援専門員			
事務職員			

(4) サービスを提供する実施地域

サービスを提供する実施地域	富士川町・市川三郷町(旧市川大門町・旧六郷町のみ)・南アルプス市(旧甲西町のみ)
---------------	--

4 事業の目的及び運営の方針

事業の目的と方針	要介護状態にある利用者に対して、適正な居宅介護支援サービスを提供することを目的とします。 運営に際しては、利用者の居宅を訪問して、要介護者の有する能力や受けている指定居宅サービス、環境等の課題を分析して自立した日常生活を営むことが出来るように「居宅サービス計画」等の作成をします。 関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービス等との連携を図ります。
----------	---

5 居宅介護支援の内容

居宅介護支援では、自宅で生活する利用者が介護サービス等を適切に利用できるよう、心身の状況、置かれている環境、要介護者の希望等を考慮し、ケアプラン（居宅サービス計画）を作成するとともに、サービス事業者等との連絡調整を行います。また、必要に応じて介護施設等の紹介も行います。

ケアマネジャーが行う、居宅介護支援の具体的な内容等は、以下のとおりです。

(1) 居宅介護支援の内容

アセスメント	利用者宅を訪問し、利用者の心身の状況や生活環境などを把握し、課題を分析します。
サービス調整	アセスメントの結果を踏まえ、利用する介護サービス事業者等へ連絡調整を行います。
ケアプラン作成	介護サービス等を利用するためのケアプランを作成します。
サービス担当者会議	介護サービス事業者等が集まり、ケアプランの内容等について話し合います。
モニタリング	少なくとも1月に1回は利用者と面接を行い、利用者の心身の状態やケアプランの利用状況等について確認します。
給付管理	ケアプラン作成後、その内容に基づき毎月給付管理票を作成し、国民健康保険団体連合会に提出します。
要介護認定の申請に係る援助	利用者の要介護認定の更新申請や状態変化に伴う区分変更申請を円滑に行えるよう援助します。利用者が希望する場合、要介護認定の申請を代行します。
介護保険施設等の紹介	利用者が自宅での生活が困難になった場合や利用者が介護保険施設等の入所を希望した場合、利用者に介護保険施設等に関する情報を提供します。

(2) テレビ電話装置等を活用したモニタリングの実施

テレビ電話装置等を活用したモニタリングの実施方法及びメリット、デメリットは

以下のとおりです。

同意欄	説明
<input type="checkbox"/>	利用者の状態が安定していることを前提として実施します。
<input type="checkbox"/>	実施にあたっては、主治医及びサービス事業者等の合意を得ます。
<input type="checkbox"/>	2月に1回は利用者の居宅を訪問して面接を行います。
<input type="checkbox"/>	移動が不要であるため、ケアマネジャーとの日程調整が容易になります。
<input type="checkbox"/>	感染症が流行している状況でも、非接触での面接が可能になります。
<input type="checkbox"/>	利用者の健康状態や住環境等については、画面越しでは確認が難しいことから、サービス事業所の担当者から情報提供を受けます。

(3) 居宅介護支援の業務範囲外の内容

ケアマネジャーは、ケアプランの作成やサービスの調整等を行いますが、下記に示すような内容は業務範囲外となります。これらのご要望に対しては、必要に応じて他の専門職等を紹介いたします。

居宅介護支援の業務範囲外の内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 救急車への同乗 ● 入退院時の手続きや生活用品調達等の支援 ● 家事の代行業務 ● 直接の身体介護 ● 金銭管理
-----------------	--

6 利用料金

要介護または要支援の認定を受けた方は、介護保険からの全額給付により自己負担は発生しません。ただし、保険料の滞納により法定代理受領ができない場合、1ヶ月につき要介護度に応じた下記の金額をいただき、事業所からサービス提供証明書を発行します。後日、サービス提供証明書を保険者の窓口に提出すると、全額が払い戻されます。

(1) 居宅介護支援費 (I) (地域区分 1単位：10円)

取扱い件数区分	料金(単位数)	
	要介護1・2	要介護3～5
居宅介護支援 (i) ※介護支援専門員1人あたりの利用者45件未満	1,086円/月 (1,086単位)	1,411円/月 (1,411単位)
居宅介護支援 (ii) ※介護支援専門員1人あたりの利用者60件未満	544円/月 (544単位)	704円/月 (704単位)
居宅介護支援 (iii) ※介護支援専門員1人あたりの利用者60件以上	326円/月 (326単位)	422円/月 (422単位)

(2) 加算

加算名称	料金(単位数)
初回加算	300円/月 (300単位)
入院時情報連携加(Ⅰ)	250円/月 (250単位)
入院時情報連携加算(Ⅱ)	200円/月 (200単位)
退院・退所加算 ※カンファレンス参加無	連携1回 450円/回 (450単位)
	連携2回 600円/回 (600単位)
退院・退所加算 ※カンファレンス参加有	連携1回 600円/回 (600単位)
	連携2回 750円/回 (750単位)
	連携3回 900円/回 (900単位)
緊急時等居宅カンファレンス 加算	200円/回 (200単位)
通院時情報連携加算	50円/回 (50単位)
ターミナルケアマネジメント 加算	400円/月 (400単位)

(3) 減算

減算名称	料金(単位数)
運営基準減算	所定単位数の50%で算定
特定事業所集中減算	1月につき200単位を減算
高齢者虐待防止措置未実施 減算	所定単位数の100分の1に相当する単位数を減算

(4) その他

交通費	サービスを提供する実施地域にお住まいの方は無料です。それ以外の地域の方は、ケアマネジャーがお訪ねするための交通費の実費が必要です。公用車使用の場合通常の業務実施地域を超えた地点より片道1km毎に10円お支払いいただきます。
解約料	解約料は一切かかりません。

7 相談・苦情の窓口

居宅介護支援に関する相談、苦情等は担当介護支援専門員（ケアマネジャー）又は下記窓口までご連絡ください。

(1) 事業所の相談窓口

相談・苦情の担当者	有泉 明子
連絡先	0556-22-8251

(2) その他の相談窓口

富士川町福祉保健課	0556-22-7207
市川三郷町介護課	055-272-1106
南アルプス市介護福祉課	055-282-6179
山梨県国民健康保険団体連合会 介護・保険者支援課	055-233-9201

8 秘密保持

事業者が得た利用者やその家族の個人情報は、介護サービスの提供以外の目的では原則として使用しません。サービス担当者会議などで利用者やその家族の個人情報を使用する場合は、利用者およびその家族の同意を事前に文書で得ることとします。

9 事故発生時の対応

利用者に対する指定居宅介護支援の提供により事故が発生した場合は、市区町村、利用者の家族に連絡を行うとともに、必要な措置を講じます。また、利用者に対する指定居宅介護支援の提供により賠償すべき事故が発生した場合は、損害賠償を速やかに行います。

10 医療との連携

居宅介護支援事業所と入院先医療機関との連携がスムーズに図れるよう、利用者が入院した場合には、担当ケアマネジャーの氏名及び連絡先を入院先の医療機関にお伝えください（お渡しした名刺等をご提示ください）。

訪問介護事業所等から伝達された利用者の口腔に関する問題や服薬状況、モニタリング等の際にケアマネジャー自身が把握した利用者の状態等について、ケアマネジャーから主治の医師や歯科医師、薬剤師に必要な情報伝達を行います。

11 公正中立なケアマネジメントの確保

複数事業所の説明等	利用者は、ケアプランに位置付ける介護サービス事業所等について複数の事業所の紹介や、その選定理由について事業者に求めることができます。
-----------	--

1 2 虐待防止・身体拘束防止のための措置

高齢者虐待防止法の実効性を高め、利用者の尊厳の保持・人格の尊重が達成されるよう、虐待防止に関する下記の措置を講じます。

- (1) 虐待防止委員会の開催
- (2) 高齢者虐待防止のための指針の整備
- (3) 虐待防止研修の実施
- (4) 専任担当者の配置

虐待防止に関する担当者	有泉 明子
-------------	-------

1 3 業務継続に向けた取り組み

感染症や自然災害が発生した場合にあっても、利用者が継続して居宅介護支援の提供を受けられるよう、業務継続計画を策定するとともに、当該計画に沿った研修及び訓練を実施します。

1 4 感染症の予防及びまん延の防止のための措置

感染症の発生及びまん延を防止できるよう、下記の措置を講じます。

- (1) 感染対策委員会の開催
- (2) 感染症及びまん延防止のための指針の整備
- (3) 感染症及びまん延防止のための研修及び訓練の実施
- (4) 専任担当者の配置

感染症防止に関する担当者	有泉 明子
--------------	-------

1 5 ハラスメント防止対策の徹底

事業所内における職員間、利用者や家族等と職員間のハラスメント防止のために次に掲げる措置を講じます。

- (1) ハラスメント対策委員会の開催
- (2) ハラスメント防止研修の実施
- (3) ハラスメント防止のための指針の整備
- (4) 専任担当者の配置

16 重要事項説明書の説明日

重要事項説明書の説明日	有泉 明子
-------------	-------

利用者に対して重要事項説明書を交付の上、居宅介護支援のサービス利用及び重要事項の説明を行いました。

事業所名	富士川病院併設居宅介護支援センター
説明者氏名	有泉 明子

令和 年 月 日

私は、重要事項説明書に基づいて居宅介護支援についての重要事項の説明を受け、その内容を同意の上、本書面を受領しました。

利用者	住所	
	氏名	

代理人	住所	
	氏名	